

-----10月24日-----

## 今週のアウトルック(10/24～10/28)

先週はドル円は少し円高気味、クロス円は少し円安気味の狭いレンジでのみ合いが続いたのち、21日の金曜日についてドル円は76.5円の壁を破りました。

EUのソブリン債リスクへの対応も、不十分な点を指摘する声も多く、期待感が更に膨らむような状況には、まだなっていないようです。ドル売り継続の可能性は強そうですが、一方的に円高ドル安が進むとも考えづらく、投機筋の円買いと、政府要人の介入発言をめぐるかけ引きが大きなウェートを占めそうです。

ドル円は、76.5円の壁をブレイクしたまま週末を迎えています。介入警戒感から一度買い戻しが入る可能性も強いですが、タイミングを見ながら更なる円高ドル安が進む可能性もありそうです。日本政府要人の介入に対する本気度？を見ながらの投機筋の動きに大きく左右されてしまうかもしれません。

ドル円の予想レンジは75円から77.5円です。

ユーロは、ユーロドルが1.39を上抜けできるかどうかのポイントとなりそうです。EUのソブリン債問題が、解決へもう一步進むような事があれば、もう一段のドル安ユーロ高が進みそうですが、いろいろなかかけ引き的な動きが出てくる可能性も高そうです。

ユーロ円の予想レンジは105円から108円です。

ポンドは、ポンドドルが1.6を超えてくるようであれば、もう一段のポンド高となりそうですが、1.6ラインではね返されてしまうと、レンジ的な動きがしばらく続いてしまいそうです。

ポンド円の予想レンジは120円から124円です。

今週はまず、ドル円の更なる円高が進むかどうか注目したいところです。その上で、リスクテイクセンチメントが継続するのか、それともドル売りから、クロス円に対しても円高が進んでしまうのか、全体的な動きの見極めがポイントとなりそうです。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。